

ジェニナック錠 200mg

【この薬は？】

販売名	ジェニナック錠 200mg Geninax Tablets 200mg
一般名	メシル酸ガレノキサシン水和物 Garenoxacin Mesilate Hydrate
含有量 (1錠中)	253.53mg (ガレノキサシンとして 200mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、キノロン系経口抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、細菌の増殖に必要な酵素を阻害することにより、殺菌作用を示します。
- ・ 次の病気の人に処方されます。

<適応症>

咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎

<適応菌種>

ガレノキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌（ペニシリン耐性肺炎球菌を含む）、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、レジオネラ・ニューモフィラ、肺炎クラミジア（クラミジア・ニューモニエ）、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

- ・ この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでく

ださい。指示通りにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示通りに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にジェニナック錠に含まれる成分や他のキノロン系抗菌剤で過敏な反応を経験したことがある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・小児

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・てんかんなどでけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどでけいれん発作をおこしたことがある人
- ・QT延長のある人
- ・糖尿病あるいは耐糖能異常のある人
- ・収縮期血圧が90 mmHg以下の人
- ・重症筋無力症の人

○ショックやアナフィラキシーがおこることがあるので、過去にアレルギーがあった人や薬で過敏な反応を経験したことがある人は、医師に伝えてください。

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、1日1回2錠です。

なお、腎機能に高度の障害のある人は、使用量が調節されることがあります。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲み忘れた場合は、気がついたときに1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合には1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・意識障害（気を失う、もうろう状態）などがあらわれることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作を行う場合には、十分に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。妊娠の可能性があるときは、すぐに医師に相談してください。

- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
皮膚粘膜眼症候群 （スティーブンス・ ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこう ぐん	高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
徐脈 じよみやく	めまい、意識の低下、考えがまとまらない、息切れ、脈がとぶ、脈が遅くなる、判断力の低下
洞停止 どうていし	めまい、心臓が止まる、気を失う
房室ブロック ぼうしつ	めまい、胸の痛み、胸の不快感、動悸（どうき）、気を失う
QT延長 えんちょう	動悸（どうき）、気を失う、息切れ、脈が速くなる、めまい、眼の前が暗くなる、胸の痛み、胸の不快感
心室頻拍（トルサー ド ド ポアントを 含む） しんしつひんぱく	息切れ、動悸（どうき）、脈が速くなる
心室細動 しんしつさいどう	めまい、眼の前が暗くなる、胸の痛み、胸の不快感、動悸（どうき）
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い、判断力の低下
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸（どうき）、空腹感、手足のふるえ
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	嘔吐（おうと）、むかむかする、腹痛、下痢、血が混ざった便

無顆粒球症 むかりゆうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
幻覚、せん妄等の精神症状 げんかく、せんもうとうのせいしんしょうじょう	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、意識が乱れる、意識の混乱
痙攣 けいれん	けいれん
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、から咳、息切れ
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりよくし ょうのあつか	まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはれぼったい、息苦しい、尿がない、尿量が減る


同類薬（キノロン系抗菌剤）であられる、特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえし ゆうかいしょう (テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振、関節の痛み
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
高血糖 こうけつとう	からだがだるい、脱力感
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうし ょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 けんえん、けんだんれつとうの けんしょうがい	押すと痛い、アキレス腱の痛み、うまく歩けない、はれ、歩けない
血管炎 けっかんえん	はれ、紫色のあざ、血管の痛み

以上の自覚症状を、副作用のあられる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだのだるい、ふらつき、高熱、発熱、脱力感、けいれん、からだのむくみ、疲れやすい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、押すと痛い
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、頭痛、意識が乱れる、意識の混乱
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼の前が暗くなる、白目が黄色くなる、まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、眼がはれぼったい
耳	耳鳴り
口や喉	眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐（おうと）、のどの痛み、歯ぐきの出血、から咳
胸部	息切れ、息苦しい、動悸（どうき）、心臓が止まる、胸の痛み、胸の不快感、吐き気、むかむかする
腹部	食欲不振、吐き気、空腹感、むかむかする、腹痛、膨れあがる感じ
手・足	脈がとぶ、脈が遅くなる、脈が速くなる、羽ばたくような手のふるえ、手足のふるえ、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、関節の痛み、アキレス腱の痛み、うまく歩けない、はれ、歩けない
皮膚	じんましん、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、皮膚が黄色くなる、かゆみ、あおあざができる、皮下出血、はれ、紫色のあざ
筋肉	筋肉の痛み、筋肉の疲労感
便	下痢、血が混ざった便
尿	尿が黄色い、赤褐色尿、尿がでない、尿量が減る、血尿
その他	判断力の低下、陰部の痛み、気を失う、出血が止まりにくい、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、出血しやすい、血管の痛み

【この薬の形は？】

P T Pシート	
形状	円形の錠剤
	表・裏・側面 
直径	8.6 mm
厚さ	4.7 mm
重さ	306mg
色	淡橙色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メシル酸ガレノキサシン水和物
添加物	結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、カルメロースカルシウム、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、トリアセチン、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売会社：アステラス製薬株式会社 (<http://www.astellas.com/jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-865-093

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日を除く）

販売提携会社：大正富山医薬品株式会社 (<http://www.taishotoyama.co.jp>)

メディカルインフォメーションセンター

電話：0120-591-810

受付時間：9時～17時30分

（土・日・祝日、当社休日を除く）

製造販売会社：富山化学工業株式会社